



聖マリアンナ医科大学東横病院

LINK

東横連携だより

地域との
つながりを
大切に

2月
平成30年
第10号

病院 理念

「生命の尊厳とキリスト教の愛の精神」を重んじ、病める人を癒す、愛ある医療を目指します

新 年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

皆様のご健勝と発展を心よりお祈りいたします。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年は十二支の戌年に当たります。戌は新しい命を育むために休眠する年と言われています。しかし、医療界はそうっておられません。診療報酬・介護報酬の同時改定が控えており、医療界にとっては引き続き慌ただしい年になります。

2025 年度以降を見据え、人々が健康でいきいきと活動し続けられる人生 100 年時代を見据えた社会を実現していくためには、社会保障制度を持続可能にしていくことは重要なことです。そのため、医療供給体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築等の改革が推進され、医療においては機能の分化・強化・連携の推進を継続課題として促進していく方向性です。

地域包括ケアシステムにおける地域の医療提供に当たり診療所、中小病院が中核的な機能を担うこととなります。地域住民が住み慣れた地域で生活を続けられるように、関連機関との連携強化していくことは言うまでもありません。当院は入院病床 124 床と小規模ではありますが入院初期に看護とソーシャルワーカー等で退院調整に介入します。入院患者の平均在院日数は 9.4 日、在宅復帰率 98% です。病床を有効に提供するためには入院前からの退院後を見据えた介入の必要性が高まりつつあります。また、入院期間が短縮していく中で、入院中に患者、家族のセルフケア力を十分つけられない事も生じることから退院後 1 ヶ月内の在宅訪問も診療報酬上認められています。当院もまだ整備の段階ですが、体制を整え、退院後のフォロー介入を検討中です。患者が住み慣れた地域、自宅での生活を継続できるように、皆様との連携の強化に努めて参りたいと思います。



聖マリアンナ医科大学
東横病院
副院長
看護部長
倉岡 圭子

CGM 外来紹介



ご診療の一助に

生活習慣病センター
大森 慎太郎

糖 尿病の合併症予防には HbA1c 値のような血糖指標の改善のみならず、「血糖変動」も解消することが重要です。そのため、私共生活習慣病センターでは、最長 2 週間に渡り血糖値を推計できる持続糖濃度測定器 (CGMS) を用いております。これにより従来の治療概念 (HbA1c だけに基いた血糖管理) が変わる可能性があります。血糖推移を可視化することは、患者さんの治療意欲を高めるのみならず、就寝中や無自覚性の低血糖を検出することが期待でき、経口薬のみの患者さん、高齢者や自己血糖測定のできないインスリン療法中の患者さんに役立てられます。

検査には 500 円玉大のセンサーを上腕に装着しますが疼痛はほとんど無く、違和感も無いと患者さんからは好評いただいております。装着中、MRI 検査などの画像検査を行うことは出来ませんが、入浴や運動も可能です。したがって日常生活での真の血糖推移をみることができるようです。このように多くのメリットがありながら、本検査の保険適応には複雑な施設基準が設けられており施行に制限がかけられているのが現状です。そこで多くの先生方のご要望を反映して、生活習慣病センターでは昨年度より「CGM 外来」を開設致しました。「検査予約患者紹介状」もしくは、「患者紹介状」の目的欄に「CGM」とだけ記載の上、ご処方と AST, ALT, Cr, HbA1c 値のご記入をお願いしております。月曜から金曜日まで対応し、2 週間装着後 1 週間以内に解析結果を直接先生方のお手元にお送りいたしますので、ホルター心電図検査と同じ感覚でお申し込みいただけたらと思います。「CGM 外来」が先生方のご診療の一助になれば幸いです。

専門外来一覧

平成 30 年 1 月現在

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
消化器外科	セカンドオピニオン (16:00~) 古畑 智久	腫瘍内科 (AM・PM) 小倉 孝氏	肥満外科外来 (PM~15:00) 佐々木 貴浩 ヘルニア外来 (PM15:00~) 佐々木 貴浩			
肝臓内科		肝臓疾患外来 (第1・3・5PM) 佐藤 明			肝臓疾患外来 (第2・4PM) 肝臓専門医交代制	
循環器内科		SAS 外来 (PM) 吉田 浩幸		SAS 外来 (第2・4・5PM) 吉田 浩幸	SAS 外来 (PM) 関塚 宏光 ペースメーカー外来 (PM) 徳丸 睦	禁煙外来 (AM~10:00)
失神センター 失神外来	(PM) 高木 泰	(PM) 高木 泰	(PM) 古川 俊行	(PM) 古川 俊行	(PM) 米山 喜平	(AM10:00~) 古川 俊行 高木 泰
心臓血管外科				心臓血管外科 兼 下肢静脈瘤外来 (第2・4PM)		
脳卒中科	セカンドオピニオン (15:00~) 植田 敏浩		脳血管内治療 (AM) 植田 敏浩	脳血管内治療 (AM) 高田 達郎 頭痛外来 (PM) 臼杵 乃理子	物忘れ外来 (PM) 徳山 承明	
脳神経外科	脳外科 / ボツリヌス治療 (AM) 小野 元	脳外科 / ボツリヌス治療 (AM) 小野 元			脳外科 / ボツリヌス治療 (AM) 小野 元	
代謝・内分泌内科	CGM 外来 (10:00~12:00) 清水 紗智		CGM 外来 (10:00~12:00) 大森 慎太郎			
リウマチ内科	(AM) 岡崎 貴裕					

診療 AM 8:30~11:00
受付 PM 13:30~16:00
時間 土曜日は第2、4、5の午前中のみです

*専門外来は基本的に事前予約制になっておりますのでご了承ください

連携施設
ご紹介

さかね内科クリニック

地域医療のお役に立ちたい

さかね内科クリニック 院長 坂根 健志

私は、2008年の東横病院リニューアルオープンの時より東横病院心臓病センターで勤務し、2012年5月に中原区宮内でクリニックを開業致しました。東横病院には医療連携を通して当院を支えて頂き、この場をお借りして感謝申し上げます。

開業までは医療設備が整っている総合病院または大学病院に勤務していたため、開業に際し患者様に十分な検査ができなくなることが不安材料の一つでした。しかし東横病院の医療連携を通して、外来を通さずストレスなく、CTやMRI、内視鏡、超音波を依頼することができ、また患者様も検査のみで短時間で受診が終了するため、抵抗なく検査を受け入れていただくことが出来ております。おかげ様で開業後も病院勤務時に近い検査の質を確保で

きていると感じております。

また東横病院に患者様をご紹介して実感するのは、紹介した際の患者様の満足度が高いことです。今までご紹介

した患者様が不満を述べられることは殆どありませんでした。特に入院された患者様からは「とても優しく丁寧な対応でした。」という感想をよくお聞きします。そういうお褒めの言葉をお聞きすると、紹介元としては自信を持ってご紹介することができます。

今後も東横病院と連携しつつ、微力ながら地域医療のお役に立ちたいと思いますので、これからも宜しくお願い致します。



連携施設
ご紹介

さとうクリニック

東横病院があつての当院です

さとうクリニック 院長 佐藤 牧

さとうクリニックは2003年に開業し、早15年目です。現在は内科、外科、消化器内科、肛門外科を標榜しております。東横病院救急外来まで、走れば1分と身近な連携機関として、大変お世話になっております。

当院では消化器内視鏡と肛門疾患に力を入れており、特に経鼻内視鏡は近隣でも早期に導入し、現在は経鼻のみで年間400件以上、経口、大腸内視鏡も入れると700件余りの検査を行っております。今回Olympus社Eliteにシステムを入れ替え、経鼻内視鏡2本体制として検査に余裕ができました。時には直接内視鏡センターに伺い、胃癌や大腸癌、その他の症例につき消化器病センターと連携させていただいております。

肛門疾患においては、内痔核の輪ゴム結紮術やALTA療法、高位結紮術も行っております。特に痔瘻は、自院で

の手術だけでなく、処置や手術の連携を取らせていただいております。ちなみに、宮島院長の検査をした際は、経鼻内視鏡は慎重に観察し過ぎて苦しいと怒られ、大腸内視鏡は簡単に終わってしまいました…。

脳卒中センターには毎年多く当院の患者様の精査依頼をさせていただいております。脳血管疾患の診断や治療には、急を要する場合も迅速にご対応いただき感謝しております。心臓病センターには、不整脈や虚血性心疾患をはじめ、精密検査やカテーテル治療等、大変お世話になっております。最近では放射線科の画像連携システムにより、CTやMRIの画像が直ぐに確認出来、大変お世話になっております。今後とも宜しくお願い致します。

我が儘な依頼に応えていただける東横病院があつて存在出来る、さとうクリニックと思います。



緊急のご紹介について

当院は救急指定病院として地域住民や地域医療に貢献すべく、各センターがホットラインを備え、救急隊や近隣の医療機関からの要請に対し 24 時間 365 日体制で的確な診断、迅速な治療を行うための体制を整えております。

医療機関専用・各センターホットライン（医師直通）
各センターの医師が直接対応いたします（24 時間）

脳神経・脳卒中センター 080-5498-9536

心臓病・失神センター 080-5498-9493

消化器病センター 080-5498-9516

救急外来 連絡先

TEL: **044-722-2121** (代表)

救急外来 FAX

FAX: **044-722-1771** (救急外来)

通常の診療・検査予約

TEL: **044-722-2216**
(医療機関専用・連携室直通)

・まずお電話にてご希望日時の相談を賜り仮予約をお取りいたします

FAX: **044-733-6658**
(医療機関専用・連携室直通)

・仮予約後、紹介状 (FAX 用) を FAX 送信してください

・本予約後、予約票を返送いたします
※原則 30 分以内に返送いたします

電話・FAX 対応時間

平日 8:30 ~ 17:00
土曜日 (第 2,4,5) 8:30 ~ 12:00

※FAX は 24 時間稼働しておりますが、時間外の FAX 返送対応は、翌日又は休診日明けとなりますので、ご了承くださいませ
ようお願い申し上げます。

お知らせ

平成 29 年度 聖マリアンナ医大東横病院 医療連携講演会年間予定

隔月 第 4 木曜日 19:30 (講演は 19:45 開始)
場所 当院管理棟 5 階カンファレンスルーム

月日	センター	担当医	演題名
3 月 22 日	消化器 脳卒中	吉田 良仁 植田 敏浩	当院の内視鏡治療関連 脳主幹動脈狭窄症に対する脳血管内治療の現状

聖マリアンナ医科大学東横病院

〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町 3-435
TEL:044-722-2121 (代表)
TEL:044-722-2216 (医療機関向け・連携室直通)
FAX:044-733-6658 (連携室直通)

東横病院

検索

編集後記

新年あけましておめでとうございます。いつもは当院からの情報発信が中心のLINKですが、今号は日頃当院に紹介をいただく地域の連携医療機関様を特集させていただきました。幸いにも当院に対して過分なる暖かいお言葉を頂戴し、大変うれしく思うと同時に信頼関係を築くことの大切さを再認識しました。今後とも現状に甘んずることなく、より充実した地域連携を目指し、「東横病院を紹介して (紹介されて) 良かった」と、紹介元の先生方と患者様に心から思っただけの病院となるよう職員一同努力して参ります。(M・M)

平成 30 年 2 月第 10 号発行 発行元: 医療支援・連携室連携便り編集委員